

膵癌術前治療における腫瘍マーカーの臨床的意義に関する検討

1. 研究の対象

2010年4月～2020年6月に術前治療を開始した膵癌の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

近年、新規抗癌剤の普及に伴い膵癌の術前治療はめざましく進歩してきましたが、術前治療における腫瘍マーカーの臨床的意義はまだ十分に研究がなされていません。今回、2010年4月～2020年6月に術前治療を開始した膵癌の方を対象とし、臨床データを解析し、膵癌術前治療における腫瘍マーカーの臨床的意義について検討します。研究期間:実施承認日～2022年3月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍マーカーを含む採血データ・生存期間・治療効果・副作用などの臨床データを使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL: 052-744-2250

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科 砂川 祐輝

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科 山田 豪